

## 中間まとめ 2 <Worksheet-2 作成>

第 7～9 章において、まず「ライフサイクル思考 (Life Cycle Thinking)」に基づいて製品等の環境影響を評価する標準的なツールである「ライフサイクルアセスメント (Life Cycle Assessment : LCA)」の概要を提示し、その実行における留意事項を明確にした。次に、価値を関連付けた評価を実践する環境効率評価への展開とその応用について具体的な事例をもとに説明した。さらには、planet (環境との調和)、people (生活の質の向上)、prosperity (経済の活性化) というサステイナブル社会の実現にとって重要な視点における多様な指標を提示し、合理的な統合化手法を用いることによるサステイナビリティ (sustainability、持続可能性) の評価に向けた拡張について言及した。

ここでは、こうした評価手法や指標に関する体系的な整理を実施して、サステイナブル工学の実践における理解を深化させ、各専門分野での発展的な学修への準備とする。

Worksheet-2 は上記の目的で用意されている。ダウンロードして表を完成させよ。